

発行所
カトリック福江教会
 広報委員会
 五島市末広町 3-6
 ☎ 0959 (72) 3957
 ●ホームページ●
<http://www15.ocn.ne.jp/~mikokoro/>

十数年ぶりの信徒総会

「浮かび上がる問題点」

5月19日(日)二番ミサ後、久しぶりの信徒総会が信徒会館で行われた。総会の中では、維持費の使い方について質問された。特に水道光熱費の増額について



だった。増額の理由として、神父様の人数が三人になった背景がある。福江教会だけなら一人の神父様で事足りるとして、本来なら発生しないお金ではないのか、福江教会だけが負担するのはおかしいなど経費を教区や他教会に請求しないのかという意見が出された。一方、現段階でまかなえているのだから、他教区の現状を考えるとまかなえていない間は自分たちでなんとかしようという意見も上がった。ここ十年で維持費は三百万ほど減った。その背景には収入の減少と信徒の高齢化や、新世帯の未加入などがある。信徒の高齢化は止めることは出来ず、信仰深かった人達は歳をとり、

年々人数を減らしている。結婚して新世帯となったら維持費を払う。そんな当たり前の事が行われていない現実もあるのは確かである。

信徒の減少と高齢化がすすんだ将来には、福江教会に四人の神父様を迎えて、福江教会から各教会へ神父様が派遣されていくという可能性がある。そんな中で、どのように維持費を確保していくのかは今後の課題である。

その他の議題として、教会の掃除について、記念史の発行について、教会維持費の監査について、新旧班長会議についてなど、想像以上に沢山の意見と、賛否両論の意見が出され意義あるものになった。

第二回 ルルド祭

今年で二二回目を迎えるルルド祭が五月一二日午後一時より行われた。

昨年と同様晴天に恵まれた春空の下、各教会から多くの信者が集まり聖母行列が始まった。

その後執り行われたミサでは、野濱神父様の説教にて、「聖母マリアの生き方や信仰を絶やさず伝えてきた先人達に習い、次の世代に



聖母行列の様子

キリスト信者の生き方を示し、伝えていかななくてはならない。」との言葉を示された。年々参加者が減少してきているルルド祭。日本最古のルルドである井持浦のルルドを、代々守り続けている地元の信者の方々に感謝したい。



感謝のミサ

霊名の御祝

6月23日2番ミサ後に聖ペトロ下口神父様の霊名の御祝が行われ、7月7日2番ミサ後に聖パウロ葛島神父様の霊名の御祝が行われた。

信者から霊的花束や記念品の贈呈、御祝の言葉とともに「これか



らも健康には留意し司牧し続けるほしい」と信徒代表から伝えられた。

下口神父様は、歳をとってくるとこの霊的花束は心に沁みますと嬉しいそうにお礼を述べられた。

葛島神父様は子供たちへの要理教育もされておられるそうです。体に気をつけて益々のご活躍を期待しています。



平野 勇神父様金祝記念ミサ

去る五月五日、福江教会の主任司祭であった平野勇神父様の叙階五〇周年（金祝）記念ミサが師の出身地である長崎市の黒崎教会にて執り行われた。福江教会からは当時の役員や親交の深かった信徒など約二五名が参列した。

聖堂内は司祭叙階後最初の赴任地である飽の浦教会を初め、中町教会、浦上教会など九つの教会の信徒や親族等四〇〇名以上で埋め尽くされた。

記念ミサが始まり、会衆の祝福の祈りと歌声の中で、何度も感極まる神父様の姿が印象的であった。

ミサ後、叙階五〇周年祝賀会がホテルニュー長崎にて盛大に執り行われた。信徒代表や、友人の神父様等祝辞を述べる方々の思い出やエピソードの端々に神父様の親分肌で人情に厚い人柄が綴られ、祝福ムードに包まれた。

金祝記念ミサでの平野神父様



九州青年キャンプ 2013 in 長崎 参加者大募集中!!

毎年、九州の教区持ち回りで行われている『九州青年キャンプ』が、今年は長崎で行われます!!

九州中のカトリック青年が長崎につどい、出会い、皆でワイワイ楽しみながら交流を深めることを目的としています。

教会から離れがちな青年達が少しでも教会に近づいてくるように、まずは同じ価値観のある青年同士がつどい、話す機会が必要だと考えます。

そのきっかけにこのキャンプをご利用下さい。

独身の息子さん・娘さんに、親戚の甥さん・姪さん、お知り合いのカトリック青年に声をかけて頂き、これからの教会を担っていく青年の信仰教育のためにぜひご協力下さい。

日程：2013年8月24日(土)～25日(日)
の1泊2日

場所：長崎カトリックセンター
長崎市上野町 10-34

参加費：3,500 円 (予定)

申込期間：7月末

申込方法：メールにて受付

kyusyu_catholic_camp2013@yahoo.co.jp

※メールには住所・氏名・所属教会・生年月日・電話番号・血液型をお知らせください。

何かご不明な点がございましたら、上記のメールにご連絡くださいませ。

広報委員会は青年の活動を応援します。



祝賀会にて



初聖体を迎えた子供たち

を深めることとなります。
初聖体児から神父様へのお礼の言葉として、この日がくるのを一生懸命準備しながら楽しみにしていた嬉しい気持ちとこれまで支えてくれた保護者、シスター、信者の皆さんへの感謝の気持ちが述べられました。

初聖体式

— 7月14日(日) —

7月14日初聖体式が下口司祭のもと執り行われました。
今回初聖体を受ける子供は6名、今日初めて聖体の秘蹟を受け、教会との交わり

ヨハネ 永田 偉楓・ヨゼフ 中田 義人
ヨゼフ 西津 陽向・マテオ 中尾 誠一
マリア 青山 采唯末・カタリナ 田端 真鈴

神父様からは、子供たち、保護者へのお祝いの言葉と子供たちへの「よく祈り、よく学び、よく遊ぶこと」の言葉をいただきました。
最後に保護者代表として中尾様よりお礼の言葉があり、初めて聖体をいただく子供たちへの喜びと、教会学校での多くの教えがこれからの人生に力になってくれる励み、そしてここまで導いてくれた神父様、シスター、信者の皆様への感謝の意が述べられました。



保護者代表お礼の言葉

下五島地区巡礼

六月二日(日)午後一時より信仰年の下五島地区の行事として教会巡礼が百人ほどの参加で行われた。
最初に、福江教会で下口神父様から、巡礼の目的と免償についての説明と、巡礼の方法について説明があった。
信徒は、車に分乗して、まず、宮原教会へとむかった。福江島の中にある教会でも、一度も行ったことのない人もいて、教会建設のこと、今



宮原教会内部

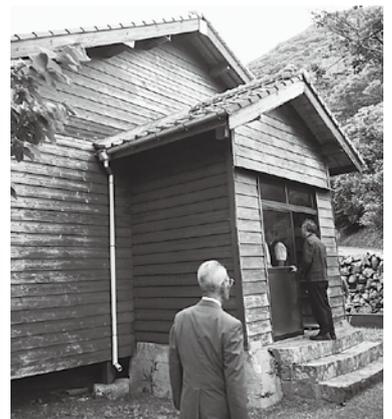


宮原教会

までの経過、現状などを浦頭教会の木口さんが説明をした。
次に、半泊教会へと向かった。道幅が狭く車一台が通れるくらいの道を進み、海岸沿いにたつ教会へ着いた。
ここでも、浦頭教会の岩崎神父様から、教会についての説明があり、ロザリオを唱え、浦頭教会へと向かった。
浦頭教会では、この巡礼の感謝のミサが行われ、下五島の神父様の共同司式で参加した信徒とともに祈りを捧げ、巡礼を終えた。



半泊教会内部



半泊教会

司祭館建設に係る現状報告

私達は平成9年7月に立ち上げた信徒会館及び司祭館建設準備委員会において百周年記念事業として司祭館の設計を行い、総面積79坪という建物を設計していました。

ところが平成24年の4月信徒会館落成式の折でしたが、私たちが計画しているものでは狭いと提言がありました。

将来司祭が少なくなる状況にあるので、福江教会を拠点に各小教会へ司祭を派遣するようになるだろうから4名の司祭の居住が必要になるでしょうとの大司教様の意向でした。

平成24年8月29日に建設委員会役員会のメンバーで大司教様とのテレビ会議を行いました。そのなかで、「私たちは、まだ建設資金を負担している状況ですのでこれ以上信徒の皆様へ負担を強いることは出来ません」と強く要望したところ、私たちの負担を超える部分の建設資金は教区のほうで補うという事になりました。その後の司祭顧問会議において、6000万円を限度額として5600万円を超える場合は教区が補填するということになりました。

司祭館建設に関わるすべての費用は長崎教区が支払うことになりましたので福江教会は当初の計画どおり5600万円を用意すればよいという事です。現在の建設資金の納入状況は順調にいますが、今後来年9月までの建設資金納入をよろしく

お願い致します。見積もりは現在3社が行っていますが今月末日には判明すると思います。

司祭館の総面積は1階が211平方メートル、2階が203平方メートル、合計414平方メートル、総建坪は125坪となっています。

2階に3名の神父様の居住区1階に1名の神父様が住まいます。駐車場は司祭館の地下に造ります。車は北側の道路から出入りします。また司祭館の玄関の前を通り末広公園側に出る道路を造ります。遅くとも8月中旬には司祭館の解体に入りますので、司祭館の書類また神父様の荷物の移動などを来週日曜日から始めたいと思います。信徒の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

なお信徒会館を建設した当初は、司祭館建設に当たっては神父様方を信徒会館に住んでもらうという計画でしたが、3人となるとどうしても無理があるという事になりまして、葛島神父様と野濱神父様は部屋を借りるということになりました。またホールの後の部分は書庫と食堂に使用します。

今後信徒会館の使用に際しましては、信徒の皆様には色々不自由、ご迷惑をお掛けすると思いますが、ご協力をよろしくお願いいたします。現在の司祭館建設の進捗状況は以上のとおりです。

司祭館建設現状報告を終わります。

洗礼式



上大津町の赤窄美穂さん(洗礼名マリア)が6月2日に洗礼を受け、新しい仲間となりました。皆さんよろしくお願ひします。

(写真) 左から2番目が美穂さん。ご主人の赤窄純治さん代母の方、司祭になって初めて洗礼を授けた野濱神父さまとともに。

《香典返し》御礼

福江教会へ

○峰 マサ子

故トマス峰 徳一様

○木口 笑

故ヨハネ木口政雄様

○阿野八代美

故ペトロ出口岩記様

○吉原美代子

故ミカエル吉原貞之様

右の方々から福江教会へ香典返しに代えて、ご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますと、ともに故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

編集後記

今回のこころは4月に発行しからの行事等を掲載しております。

長年行われなかった信徒総会が開催されたことや司祭館建設が始まることなど福江教会も時代の流れの中で動き始めているようです。

また、初聖体式、ルルド祭など今までどおり行われてきたことが今でもしっかりと受け継がれていることも大切なことです。

新たなもの、受け継ぐもの、信者の高齢化、少子化などで教会のあり方もますます変わってくると思いますが、今存在する私たちが教会を大切に思い、また奉仕することが不可欠だと思ひます。

私たちが今、するべきこと、考えるべきことはなんなのでしょう。か？ 私自身も含めて。

また、教会に経済評議委員として奉仕していただいていた、吉原貞之さんが不慮の事故で亡くなられたことは、福江教会にとって大きな衝撃と、無念さでいっぱいです。

ご冥福をお祈りいたします。